

## デザイン塾：第二部「タイムアクシスデザイン・ 価値成長デザインに関する講演」

第2部においては、はじめに、日本発条株式会社の加藤武彦氏より、体調モニタシートのシステムデザインに関する講演が行われました。講演のなかでは、タイムアクシスに基づく段階的な機能向上を実現するシートシステムデザインのコンセプトについて説明がなされました。つぎに、マツダ株式会社の古郡了氏より、価値成長モビリティにおける価値伝承システムについて講演が行われました。モビリティの価値伝承に求められる基本的な考え方や仕組みについて説明がなされました。さいごに、井上真人氏よりEVの価値成長デザインに関する講演が行われました。タイムアクシスの視点からEVのメリットとデメリットを分析することで、EVが独自に持つ価値成長の可能性について説明がされました。

講演終了後には、プランテックコンサルティング株式会社によるWingletの試乗会も行われ、盛況のうちに終了いたしました。

本活動においては、デザインに関わる研究・教育者の方々（千葉工業大学、東海大学、武蔵野美術大学）、実務者の方々（THINKSNEO、河西工業、キヤノン、名古屋電機工業、南条装備工業、日本発条、富士ゼロックス、プランテックコンサルティング、マツダ）、学生を含む約60名の方にお越しいただき、デザイン科学とタイムアクシスデザインの意義や可能性について活発な議論が行われました。



加藤武彦氏による講演の様子



古郡了氏の講演の様子



井上真人氏による講演の様子